

## 柔軟な働き方



大臣官房 秘書課  
研修係  
越後 柚香  
ECHIGO Yuzuka  
[令和5年入省]

### テレワークの活用により、働く場所を柔軟に選ぶことができます。

ワークライフバランスを実現するための柔軟な働き方の一つに「テレワーク」があります。文書の電子化や Web 会議ツールの導入などにより、職場以外で勤務する場合でも職場と同等のパフォーマンスを発揮できる環境が整備されています。また、勤務時間・休暇に関する他の制度と組み合わせた、より柔軟な働き方も可能です。私自身も、例えば午前中はテレワーク、午後は年次休暇を取得することで、通勤に要する時間をリフレッシュや自己研鑽に充てるなど有効に活用しています。ライフステージの変化に応じた柔軟な働き方を実現できるため、安心して働き続けることができます。

## 子どもの成長を日々感じられる幸せ。

### 育児をしながらの働き方について

業務の都合で急に帰りが遅くなる日もありますが、直属の上司をはじめ、同僚の理解・協力のおかげで、基本的にほぼ毎日、定時に退庁しています。帰宅後は私が息子をお風呂に入れ、寝るまでの支度を妻と協力して行っています。

4月からは息子が保育園に通っています。共働きの妻は仕事柄、国内外の出張が多いので、妻が不在の日には私が保育園の送迎を行えるようにフレックスタイム制度を活用しようと考えており、多様な働き方ができる環境を有難く感じています。

### 配偶者出産休暇を取得してみた

息子が産まれたときは業務繁忙期だったため、当初は休暇を取得しないつもりでしたが、直属の上司や同僚から強く勧められて「配偶者出産休暇」を取得しました。繁忙期にも関わらず、同僚が私の業務を快く引き受けてくれたおかげで、出産当日に妻の傍に寄り添うことができました。出産に立ち会えたことで、新しい命の誕生を目の当たりにして改めて命の尊さに感動し、妻への感謝の念を強くするとともに、息子にとって代わりのいない父親としての自覚を確かなものにできました。



## 育児との両立



大臣官房文書課  
広報室広報企画  
第二係長  
金原 和歩  
KINPARA Kazuho  
[平成29年入省]

## プライベートは人それぞれ。自身の「やりたい」も追求できる。

入省当時から👉ここがChange!

### 学生時代の“憧れ”

畠山 敦

学生時代からドライブが好きで、「将来はこんな車に乗りたい」と漠然と考えることも多かったものの、東京での移動手段は電車や自転車を中心で、「車のある生活」は正直、イメージを持っていませんでした。ところが入省してみると、マイカーを所有する職員も多く、車好きの先輩に相談に乗っていただき、つい先日、憧れのマイカーを思い切って購入しました。高額な買い物に震えあがっておりますが、ゴルフやスノーボード、サウナ巡りなど休日の過ごし方の選択肢が広がり、生活の質がぐっと向上しました!

入省当時から👉ここがChange!

### 職場の人との関わり

安藤 樹一

先日、週末に先輩・同僚・後輩と家族ぐるみでBBQをしました。職場とは違う表情を見せる同僚や後輩と談笑したり、先輩のお子さんと河川敷と一緒に走り回ったりするうちに、仕事の疲れが癒やされました。学生時代には、職場の方とこのような付き合いができるとは想像もしていませんでしたが、仕事上の関係にとどまらずプライベートでも懇意にしている方が多く、交友関係が広がっています。ちなみに隣の畠山さんとは頻りにゴルフに行く仲です。

## 私生活での変化



入省1年目の私!



大臣官房  
秘書課 人事第二係  
畠山 敦  
HATAKEYAMA Atsushi  
[令和3年入省]

入省1年目の私!



主計局  
経済産業第一係  
安藤 樹一  
ANDO Juichi  
[令和4年入省]